

53 D 4

特許庁

実用新案出願公告

実用新案公報

昭33-8815

公告 昭33.6.13 出願 昭31.9.4 実願 昭31-45053

考案者 高石繁之 茨木市大字茨木 712
出願人 高石工業株式会社 同所

(全1頁)

内部力板入りオイルシール

図面の略解

図面は本考案内部力板入りオイルシールの一部
縦断側面図を示す。

実用新案の説明

図中1は内部力板入りオイルシールの外輪部、
2は油止め内縁であつて共に合成ゴムで製作され
る。3はそれに嵌装せる環状螺旋発条であり、4
はほぼZ字型をなす金属製力板の垂直縁、5はそ
の外縁、6はその内縁、7はオイルシールの外側
壁である。

金属製力板は垂直縁4と外方へ直角に折曲げた
外縁5及び内方へ直角に折曲げた内縁6で構成
し、1枚の金属板で作られ、外輪部1の油側面8、
9、10の直下に埋没的に焼付けて補強とする。

油止め内縁2に強い圧力が加えられ又は震動が

甚しい時には常に油止め内縁2は不安定下に置か
れ破損及び油洩れの原因となるが、本考案による
時は、垂直縁4及び内縁6で支えられているので
此の不安は全くない。

しかもハウジングの奥底面と接触する油側面8
の直下には外縁5があるので正しく確実に接する
ので油の面洩れは皆無であり、ハウジング内径に
強く嵌入せられた外側壁7と相協同し克く油の皆
洩れを防ぎ、強圧、強震動に耐える良好なるオイ
ルシールを製作し得る。

登録請求の範囲

図面に示す如くその断面ほぼZ字型をなす金属
製力板の垂直縁4及び外縁5及び内縁6を、外輪
部1の油側面8、9、10の直下に埋没的に焼付けて
成る内部力板入りオイルシールの構造。

